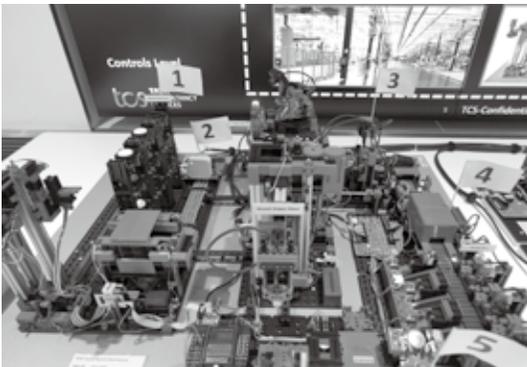


日本TCS、スマートファクトリーを体験できるショールームを開設

日本タタ・コンサルタンシー・サービス(日本TCS)は同社が提供する技術サービスを体感できるショールーム「Digital Continuity Experience Center」(以下、DCEC)を開設した。DCECでは、IoTやAIを用いてデータ収集・分析・活用を行い、設計から製造プロセスを効率化した工場、いわゆる「スマートファクトリー」をミニチュアサイズで机上に再現。倉庫から原材料の搬送、加工、検査、組立、仕分け、出荷までの製造工程をミニチュアモデルで実演する。それらの工程では、PLM(製品ライフサイクル管理)、ERP(基幹業務システム)、MES(製造実行システム)およびPLCと連携しており、現場のオペレーターが持つ情報をタブレットやPCなどで遠隔からでも監視できる仕組みを体験できる。現場に行かなくても、モノづくりの上流から下流までのモノと情報の流れのイメージを共有できる場所を構築した。

「DCECでは、お客様にIoTデジタルエンジニアリングソリューションを現実的な世界につなげて体感いただけます。実際に現場でどんなやりとりがされているかをここで見る您可以通过」とIoT & デジタルエンジニアリング デジタルスレッド&コネクテッドプラント サブユニットヘッド

写真1 材料搬送から加工、検査、出荷までを再現したミニチュア工場。ERPやMESなどのシステムとも連携し、生産現場の情報をリアルに確認できる



のベンカテシュ クリシュナン氏は話す(写真2)。

日本TCSは、インド・タタグループの大手ITサービス企業、タタコンサルタンシーサービスの日本法人。製造業をはじめ多様な産業のビジネス革新をIT・デジタル技術とコンサルティングでサポートしている。2018年には顧客企業とのビジネス変革の創出拠点「TCS Pace Port Tokyo」を設立し、気づき、アイデア創出、実証、開発・実装のプロセスでイノベーション創出を支援する。DCECはTCS Pace Port Tokyoの一部に開設した。デジタル技術を有効活用することで、製造業の課題解決を提案していく(写真3)。

写真2 ベンカテシュ クリシュナン氏



写真3 DCECには稼働状況やKPI、目標管理などに活用できるクラウド型タッチモニター「3DLean」も設置

